

謹賀新年



森下順彦支部長

命と生活が 大切にされる年に

新年おめでとございます。

3・11の東日本大震災から間もなく10か月になります。未曾有の津波によって今なお行方不明の方も多く、さらに福島第一原発の事故によって、多くの人々が避難生活を余儀なくされるなど、被災された方々は苦しい生活が続いています。改めて心よりお見舞い申し上げます。

おりましたが、シナリオ通りの「やらせ」であったことが明らかになり「政策仕分け」など財務省の圧力によって、私たちの期待を裏切る結果となりました。

「受診時定額負担」は一旦見送られることになりましたが、患者負担増が続き受診抑制は顕著です。さらに、生活保護の切り捨てや年金引き下げなど、民主党政権になっても社会保障改悪には枚挙にいとまがありません。

保険医協会が行っている「診療報酬引き上げ」「患者窓口負担の大幅軽減」の運動に支部としても全力で取り組みたいと思います。

さて、北摂・丹波支部では昨年も5回目になった市民公開の「映画会&学習会」やレクリエーション企画「ハイキング&陶芸教室」、年2回恒例の院内感染対策研修会、会員懇談会、接遇研修会など、多彩な活動を行ってきました。



市民公開企画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会&学習会 (8/7)

これら北摂・丹波支部の活動へご協力いただきました先生方には心より感謝致します。

今年も、会員の先生方やスタッフの皆さんのニーズに基づいた行事を企画するとともに医療・福祉の充実を求めて支部活動を推進していきたいと思っておりますので、この一年もどうぞよろしくお問い合わせ致します。



立杭焼陶芸教室 (5/21)



在宅医療研究会 (10/15)



虚空蔵山ハイキング (11/3)

北摂・丹波支部



せったん

第138号 2012年1月5日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

第80回評議員会

11月20日に開催された協会第80回評議員会(協会会議室)に、北摂・丹波支部より森下順彦支部長、小寺修先生(小寺歯科医院)が出席、支部の活動と被災地支援について発言した。発言の要旨を掲載する。

地域医療調査 市民から反響

森下順彦支部長

4年ほど前に兵庫医大・篠山病院の撤退問題が起こり、その存続を求める「篠山市の医療をよくする会」が発足した。支部では当初から会に参加し協力してきた。おかげで篠山病院の存続が決まり、ささやま医療センターとしてオープンした。「よくする

被災地の課題 現場で見える

小寺 修 先生



5月と9月に石巻を中心に被災者支援に行ってきた。5月の訪問時、ある避難所で女性が「ふーっ」と言って帰ってきた。「掃除をしようと思って家に帰ったがヘドロだらけでやる気をなくした」と。現場の声を聞いたことは非常に良かった。被災地支援が実現できたのも協会が現地と連絡をとってくれたからだ。9月は会員から集めた歯ブラシ募金を渡してきた。ドクターズ・デモンスンポに参加し、阪神・淡路の資料を参加者

に配った。主催者のドクターが「宮城県と岩手県は戦後の復興だが、福島県はまだ戦時中だ」と言われ、その通りだと感じた。仮設住宅の被災者に自殺者が出ている。仮設住宅の人たちを支援できるよう、協会でも考えていければと思う。野田首相が2兆円のインフラ整備費をASANに出すと言ったそうだが、そのお金を被災地に回せないか。被災地には「忘れないでくれ」という気持ちがあると思う。息長く支援することが必要だ。

「篠山市の医療をよくする会」第5回総会

「地域医療に関するアンケート」結果報告

「国保税の引き下げ」「医師・看護師の増員」望む声多数



昨年6月にリニューアルオープンした「兵庫医大ささやま医療センター」

篠山市の医療をよくする会(北摂・丹波支部加入)は、11月23日に第5回総会を篠山市民センターで開催し、22人が参加した。総会議事では、10年度活動のまとめと11年度活動方針を提案。10年度も毎月幹事会を開催するとともに、昨年6月にささやま医療センターが開設されたことをふまえて、あらためて篠山市の医療をよくするために何が必要かを探る「地域医療に関するアンケート」を市民対象に行い、456通の回答を得たことなどが報告された。アンケート

の結果を受けて、11年も引き続いて医療・福祉・社会保障の充実に向けて活動することが確認された。また、役員改選では、新たに杉本健郎先生(篠山市・すぎもとボーン・クリニック)が顧問に選出された。総会議事後、アンケート結果の特徴について報告。「医療の充実のために行政に望むことは」の問いでは、「国保税の引き下げ」と答えた人が最も多く、次いで「医師や看護師の増員」、「救急医療の充実」、「老人医療の充実・無料化」が挙げられたことが報告され、会場からも活発に意見が出された。篠山市は国保税の徴収を09年度から収税課が一括して行い、09年度の差し押さえ総額は県内で一番多い1億1400万円になった。さらに昨年11月から全職員(一部の職種を除く)が市税滞納世帯宅を訪問して納付を促す

淡路島新エネルギー視察会

環境・公害対策部会と淡路支部が11月23日に、新エネルギー視察会を開催。12人が参加し、淡路市内の風力発電所建設予定地や潮流発電を研究する企業を訪れた。北摂・丹波支部から森下順彦支部長が参加した。(兵庫保険新聞12月15日号に感想文掲載)



「二斉徴収」を行っており、「農協の組合員資格証まで差し押さえた」と聞いた」など、行きすぎた取り立てが行われていないか疑問視する声が出された。会では、アンケート結果と意見をまとめて、1月中旬に篠山市と懇談を行う予定にしている。

改定医療法対策 院内感染対策研修会 Part IX

「針刺し事故の予防対策」

北摂・丹波支部は11月19日、9回目となる院内感染対策研修会を開催し36人が参加した。「針刺し事故の予防対策」をテーマに済生会兵庫県病院感染管理認定看護師の小川麻由美氏が講演した。



医療従事者の中でも、鋭利な刃物を扱う医師・歯科医師や看護師・歯科衛生士の針刺し事故が多く、どういった対策が日頃から必要なのか、また、万が一事故を起こした時の対応について、HBVやHCV、HIV対策を含めて学習した。

講師は、針刺し事故の防止対策は自分と職員を守るために重要で、事故を起こした時は早急に対応できるように各施設でマニュアル化しておくことを訴えた。



【参加者の感想】
★針刺し事故の予防や事故後の処理について、理解していたつもりでしたが非常に知識が浅かったことがわかりました。今

後は職場へ持ち帰り改善できることを話し合つて予防に努めたいと思います。
★針刺し事故防止対策としての手袋の着用は、すべきたらうと思いつつ業務の忙しさを理由に実行できていません。他の施設では当たり前になってきているのでは・・・とかなり気になっていました。今日のお話を聞いてやはり実行していかなければと思いました。
★当院ではHIV検査はほとんどしたことがないので、HIVに関する感染対策がよくわかりました。手袋の着用がまだ徹底されていないので徹底していきたいです。
★研修の機会がもてる事が嬉しいです。日頃の処置の再確認や問題点を指導いただけるのでありがたいです。

2012年4月診療報酬改定

今からご予約ください!

「新点数研究会」

(医科)

日時 3月23日(金) 14:00～16:00
会場 三田市総合福祉保健センター 1F 多目的ホール
講師 木村 忠史 副支部長(木村クリニック)

(歯科)

日時 3月23日(金) 20:00～22:00
会場 三田市内(会場が決まり次第ご案内いたします)
講師 中西 透先生、福田 俊明先生、岡本 晴夫先生、小寺 修先生

※お問い合わせは、078-393-1801・3(平井・黒木まで)

